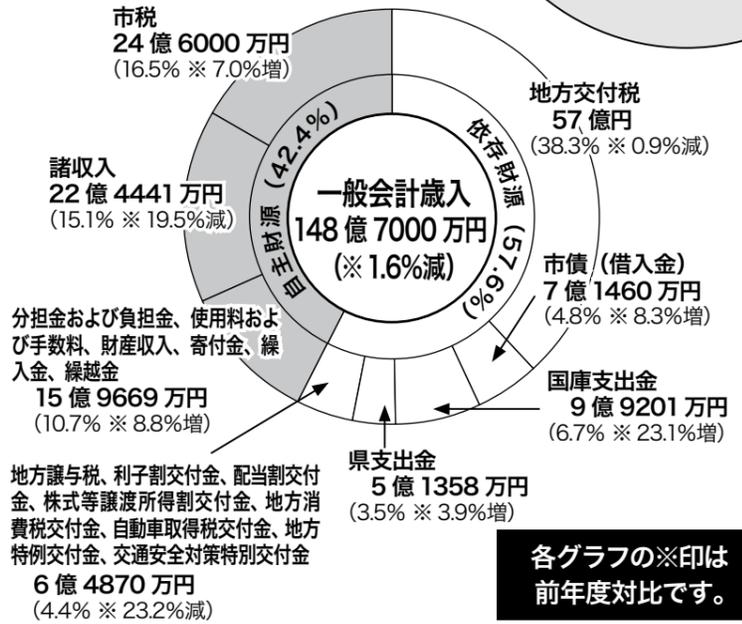


平成19年度予算・事業・・・・・・・・・・2～5ページ
 飯山市栄誉賞表彰式・・・・・・・・・・6
 アスハラガス産地再生事業・・・・・・・・・・7
 ポイントカードによる市税等の納付制度が開始・・・・・・8
 廃棄物の野外焼却の禁止等について・・・・・・・・・・9
 血液サラサラ&筋力アップ教室・・・・・・・・・・10
 飯山経済塾開講・・・・・・・・・・11
 市役所の組織機構・・・・・・・・・・12
 飯山高校が開校・・・・・・・・・・14
 ・・・・・・・・・・15
 ・・・・・・・・・・16

平成19年度 予算

一般会計予算総額は148億7000万円。
 5本の柱を重点に事業を展開。



各グラフの※印は前年度対比です。

飯山市の平成19年度予算が、市議会3月定例会で可決成立しました。
 一般会計の今年度予算の総額は、前年度から1.6%減の148億7000万円。
 歳入のうち、市税については税源移譲により増となる反面、地方交付税の新型交付税導入による影響額等を加味すると、歳入全体では昨年より減少することが予想されます。
 歳出では、このよう厳しい状況に応じて行政改革などを進めるとともに、5つの柱を掲げ、重点分野には限られた財源を重点配分し、事業を行っています。

5つの柱

平成19年度の重点事業分野

① 移住・定住促進対策

情報発信と環境整備を軸に取り組みを強化します。
 また住宅建設補助等を引き続き実施するほか、企業誘致・通勤対策等の雇用の場の確保を強化し、居住環境、雇用環境等の受け皿づくりを積極的に行います。

② 産業の活性化

新幹線効果を最大限発揮できる飯山市づくりを
 北陸新幹線飯山駅開業を見据え、7年後の開業までいその効果を具体化し、活力ある飯山市づくりができれば、市民の皆さんと共に考え実施していきます。
 また森林セラピー基地グラウンドオープンによる、地域の資源を生かした新たな観光の推進、商業・工業・農業の振興を積極的に行い、飯山市産業の活性化を推進します。

③ 住宅・通勤・通学対策

市民が根を下ろし住み続けるための環境整備を
 住宅対策は、新町団地跡地に平成20年度完成を目指すとした市営住宅の新たな整備などを予定しています。
 住環境の整備は、飯山市土地開発公社の未分譲地の分譲の促進のほか、新たに安価な「長峰公園住宅地」を売り出す予定です。
 またJR飯山線沿線の駐車場等の整備など、市外への通勤・通学の利便性の向上を図り環境整備を行っていく予定です。

④ 0歳からの安心・安全、豊かな教育

他市に先駆けた福祉医療特別給付の拡充も
 「子育ておうえん券」を昨年の半額にして継続。残りの財源で小学校低学年まで医療費を無料化する福祉医療特別給付の拡充を行います。また不妊治療の所得制限を撤廃し助成額・助成期間を拡大、より治療を受けやすい支援施策の充実を図ります。そのほか、北部子育て支援センターの設置、家庭児童相談員の増員など子どもを安心して生み育てるための施策を進めます。

⑤ 共存、共栄やさしくまじり

新たに「3世代同居家族感謝事業」を実施
 子どもを安心して育ててもらい働くことのできる環境。こうした田舎のライフスタイルに合った3世代以上の同居家族には、その慰労と感謝の気持ちで市内の温泉施設利用券の発行を行い、今後の3世代同居の推進のための動機づけを図っていく方針です。そのほか、防災意識の高揚と体制の整備、医師不足への対応、新たな介護施設の整備なども行っています。

特別会計等の予算 (1万円未満端数処理)

特別会計名	予算額	前年比 (%)
公共下水道事業	10億0,589万	△6.9
国民健康保険	24億0,155万	9.9
特定環境保全公共下水道事業	4億7,839万	△0.6
福祉企業センター	6,393万	△5.0
住宅新築資金等貸付事業	109万	△43.5
老人保健医療	26億4,724万	△3.7
簡易水道等	1億7,633万	5.8
土地取得事業	1,787万	△2.0
介護サービス事業	488万	△36.5
農業集落排水事業	3億7,807万	△1.8
介護保険	19億9,143万	△0.6
ケーブルテレビ事業	2億4,719万	4.7
水道事業	7億5,607万	△1.5
合計	101億6,993万	0.0

地方交付税は前年比0.9%減の見込み

財源不足は借金(市債)と貯金取りくずし(基金繰入金)に依存

●飯山市の借金残高(平成19年度末見込み)
115億3455万円(1人あたり45万7611円)
 ・18年度末残高 128億8186万円(見込み)

※1人あたりの数値は、3月末現在の飯山市の人口25,206人をもとに算出。